

第50回 通常総代会を終えて

2023年度は、設立50周年を記念して、お世話になった方々への感謝とともに、大切な食を未来につなぐ数々のイベントを開催しました。食の楽しさ、生産者と消費者のつながりの大切さ、日本農業や地球環境の今日的な危機などを共に学び、未来に向けた私たちの重要な役割を再確認しました。世代交代と時代の変革期という大きな転換点を迎えた産直の東都生協として、2024年度は多くの仲間を増やして利用基盤を強化するとともに、厳しい事業環境にも耐えうる経営構造を構築することが重点です。とりわけ人材の確保と能力開発に向けた改革は待ったなしです。

持続可能な農業や農村の発展に向けては、購買力だけでなく、心のつながりをはじめとして、農作業や農村の活性化に向けた直接支援など、多様なかたちで応援していくことが次世代産直のテーマです。食や農へ理解促進も、安全性だけではなくSDGsの視点、食材のこだわりによるおいしさの実感、その調理方法の習得、食を囲んだ楽しいコミュニケーションの場づくりなど、多様な人々が関わりながら、感動や共感が醸成できる活動が重要になります。生産者や取引先から選ばれ、地域で頼られる生協として発展できるように皆の知恵と力を集め大きく前進していきましょう。



理事長
風間 与司治
かざま よしはる

5月20日 生活文化事業部 住まいるフェスタ開催!

「住まいも東都生協」ホームページはこちら↓

●お問い合わせ
生活文化事業部
0120-080-0103

「住まいも東都生協」ホームページはこちら↓



監事会だより

現在、監事会は、第2回定例監事会で決定した「監査方針及び監査実施計画」に沿って粛々と監査活動を進めています。その中で監事会が今年度重点的に監視・検証する事項は、昨年度に引き続き(1)草加要冷セットセンター稼働および基幹システム刷新に係る投資等を中心とした内部統制の状況(2)経営構造改革の進捗状況(3)各事業所におけるコンプライアンスの状況(4)各配送センターにおけるマネジメントの状況および新たな組合員活動スタイルでの地域委員会等組合員活動への支援・連携の状況(5)安全運転に係る取り組みの進捗状況(6)資産・什器・備品の管理状況に加え、新たに(7)2024年度の赤字予算計画に係わって、経理・会計に係る監視・検証の強化とともに、顧問会計士・顧問税理士・顧問弁護士との意見交換・ヒアリングなどの取り組み、(8)2023年度に資産計上を決定したTZパックの資産管理について管理の方法、状況の監視・検証です。

監事会の監査は、主に理事会等重要会議への出席、常勤理事などからのヒアリング、決算関係書類等の内容に関する検証、各事業所等の実地調査で構成されています。今年度は、調布センター、国立センター、町田センター、足立センター、草加要冷セットセンターを実地調査対象部署としました。その他各監事が独立して実施する監査や調査が加わり、そして、公認会計士および業務内部監査担当との三様監査連携を図りながら、2024年度末の監査報告を目指しています。



MOGMOGレポート

REPORT 01
3月18日
アレルギー学習会
商品委員会

講師に武内澄子さん(食物アレルギーの子を持つ親の会代表、元東都生協アレルギー相談員)をお招きし、オンラインで開催しました。参加者は29人。

食物アレルギーの症状、食材の表示、アナフィラキシーの対応などについて学びました。アレルギー発症原因は、乳・卵・小麦の順に多く、最近ではナッツ類のアレルギーも増えています。花粉症の人が果物にかゆみなどを感じる場合は、アーモンドなどのナッツに反応することがあり、ベビー用マッサージオイルの原料として使用されるナッツ類からのアレルギーも報告されているので、原料表示の確認が必要です。原因や症状は人それぞれ異なるため、自分の体と向き合い、適切に対応することが大切だと学びました。

さらに、食物アレルギーを持つ人が孤立しないように「かわいそう」と思うのではなく「がんばっているね」と見守ってほしいという先生の言葉が印象的でした。

参加者からは、「情報は変わっていくので、これからもこのような学習会を続けてほしい」という声が寄せられました。



REPORT 02
4月6日
旧陸軍登戸研究所
史跡見学
第8地域委員会

好評につき再実施となった人気企画です。今回は定員を増やして2グループ制にしましたが、それでも落選の方が大勢。最終的な参加者は54人です。

登戸研究所の史跡は、明治大学生田キャンパスの中にあります。資料館では山田朗館長(文学部教授)の解説が分かりやすく好評。風船爆弾や偽札の模型・レプリカが特に注目を集めました。史跡見学に加えてビデオ視聴もあり、盛りだくさんの3時間でした。

当日は交通機関の乱れで一部開始が遅れましたが、地域委員会メンバー、このゆびとまれのサポーター計6人による案内でスムーズに進行了。スケジュール表や案内も入念に計画されており、小中学生から80代までの幅広い層が参加し、男性も多数。「軍の裏の活動の一端を知れた。戦争は奥が深い」「素晴らしい企画で繰り返し実施してほしい」と皆さん満足の様子でした。

風船爆弾。実物はこの10倍の大きさ

REPORT 03
5月23日
ツナグ・カフェ
第1地域委員会

ツナグ・カフェの前に行われていた学習会から残った方も多く、開始前から地元の話で盛り上がり、開始時刻を過ぎて数人が合流し、東都生協の飲み物やお菓子を試食しながら和やかな雰囲気でお話が進みました。参加者は10人。男性の参加者もいました。先月のコープ化粧品講習会の参加者が知識を披露すると、皆が興味津々に聞き入っていました。商品お届け用ポリ袋の形が変わった話題では、率直な感想に全員が大きくうなずく場面も。最近「とーとフレンズ」の活動を始めた方が組合員理事に質問したり、みなさんの注文時の失敗談などでも盛り上がり、あっという間に楽しいひとときが過ぎました。

参加者からは、「生協は単なる購入だけでなく楽しい」「出会いがあってよかった」「活発な活動に感謝」「いろいろな話を聞いてよかった」との感想が寄せられました。あなたも地域の企画やサロンに参加してみませんか。



平和募金 企画

東京都慰霊堂を訪ね、戦災と震災の歴史を学ぼう

開催日：4月20日 組合員活動委員会

東京都慰霊堂

東京大空襲と関東大震災の犠牲者を合わせて16万3千柱の遺骨が納められている東京都慰霊堂(墨田区)を30人の組合員が訪れました。ご夫婦、小学生のお子さん連れなど、さまざまな方の参加がありました。

慰霊堂は、複数の宗教的要素を取り入れて設計されています。神社仏閣のような外観に、鳥や龍のような妖怪が配置されており、厳かな雰囲気を保ちつつ、異なる宗教や文化を持つ人々がそれぞれの思いを胸に祈ることができるよう配慮されています。

参加者は、(公益財団法人)東京都慰霊協会の武井増雄

事務局長からお話を伺い、DVD「炎の記憶」を視聴し、祈りを捧げました。

その後、参加者は2つの班に分かれて、イヤホンを通して墨田区まちあるきガイドの解説を聞きながら、初夏のような日差しの下で色とりどりの花々が咲く横網町公園を散策しました。

参加者の感想をいくつか紹介します。

「大地震や空襲の恐ろしさ、人間の弱さを再認識できた」「デマに惑わされず、互いを思いやる気持ちを大切にすべきだ」

「命を得ていることの奇跡性を感じ、未来への平和を願う」

参加者の感想は、年度末に発行される「戦争体験文集&平和募金企画参加者感想文集」に掲載される予定です。



慰霊堂内で「炎の記憶」を視聴



震災記念屋外展示場

<6月の私たち>

2024年6月20日現在 ※ []内は前年比

組合員数	262,113人	[102.1%]
加入	4,783人	[182.4%]
脱退	3,170人	[147.5%]

総事業高 8,411,863千円 [99.8%]

共同購入事業	8,055,231千円
弁当配食事業	98,796千円
生活文化事業	60,599千円
生活支援事業	18,890千円
その他事業	178,347千円

出資金 6,629,352千円 [99.6%]

1人当たりの出資金	25,292円	[97.6%]
1人当たりの利用高	6,137円	[100.2%]



今後の理事会日程(予定)

・10月17日(木)・11月14日(木)

2023年度 第16回定例理事会(2024年6月6日開催)

- 報告事項
- 2024年度役員人事委員会設置と委員確認の件
 - 内部統制の取り組みに関する報告の件
 - 各部署業務報告

2024年度 第1回定例理事会(2024年6月13日開催)

- 報告事項
- 2024年度理事会等の開催日程確認の件
 - 2024年度における組合員常任理事の役割分担の件
 - 2024年度理事会設置委員会および関係団体等への派遣委員確認の件
 - 常任理事会決議事項報告

2024年度 第2回定例理事会(2024年6月20日開催)

- 審議事項
- 2024年度第50回通常総代会のまとめ確認の件(その1)
 - 2024年度総代定数確認の件

- 報告事項
- 2024年5月度決算報告
 - 各部署業務報告
 - 組合員活動委員会報告
 - 商品活動関連報告
 - 理事懇談会開催の件
 - 男女平等推進評価委員会からの評価報告に関する件
 - 常任理事会決議事項報告